



秋の税制講演会のご報告

「労使問題と役立つ助成金」

税制委員会 小林誉光

平成22年10月13日、法人会2階会議室にて、秋の税制講演会を開催しました。今回は、この講演会のご報告をいたします。

【講演会の内容】〈講師〉社会保険労務士 遊佐 圭介氏 〈テーマ〉「労使問題と役立つ助成金」講演は、2部構成で行われました。まず「助成金の問題」、次に「労使問題」の2部構成で講演がありました。

〔1〕会社のステージ別の助成金 助成金について、①会社設立・異業種進出、②正社員の雇い入れ、③事業拡大成長期に応じた助成金の説明をしていただきました。

ステージごとに助成金の種類を説明していただき、(当日配布の)『知って得する助成金活用ガイド(日

本法令)』を見ながら、助成金の要件を説明していただきました。

助成金の種類が多く、また要件も細かいため、すべての助成金をおさえることは難しかったかもしれません。 「こんなときにもらえるかもれない」ということを「イメージ」で理解し・確認することで、「実務の場面で必要なときに」調べたり、再確認したりする」ことができないのではないかと思います。

〔2〕労使問題

後半は、労使問題について、先生が経験した「具体的な事例」を用いながら、労働紛争の流れをお話いただきました。

第1章 労働相談ができる公的機関とその特徴

第2章 労働局での紛争解決

第3章 労働審判(裁判所での解決手続き)

労使紛争の件数が年々増加する状況において、労使問題は、中小企業の経営者にとっても「他人事ではない問題」になりつつあります。 今回の講演は、万が一のために「労働紛争のおおまかな流れ」をつかむことができ、また「労働紛争に向けて備えるキッカケ」として、とても有意義な講演だったと思います。